

令和2年度(2020年度)つくば市役所地球温暖化対策実行計画(事務事業編)等実績(対象:つくば市庁舎及び出先機関)

項目	2013年度実績値 (基準年度)	2019年度実績値	2020年度実績値	基準年度 増減	基準値比 (%)	目標値	増減の主な要因
CO2排出量(t)	51,931	57,971	54,089	2,158	4.2	49,178	小学校の新設や空調機導入による電気使用量増加、エネルギー転換による都市ガス使用量の影響が大きい。
CO2排出量(t) (一般廃棄物の処理による 排出を除く)	21,050	21,828	20,325	△ 726	△ 3.5	20,571	環境配慮契約の導入により、電気の使用による温室効果ガス排出量が大幅に減少している。ただし、電化や都市ガス化が進んでいるものの、それ以上にエネルギー消費量が増加している。
電気使用量(kWh)	33,307,088	36,075,447	36,318,805	3,011,717	9.0	—	コロナウイルス対策により多くの有人施設で前年比増加している。施設によっては、休止していた状況であるが、空調負荷がそれを上回ったと見られる。また、配水場及び下水場ポンプ、サステナ管理課等のエネルギー消費量が増加しており、人口増加の影響と推測される。
ガソリン購入量(L)	216,746	188,611	155,907	△ 60,838	△ 28.1	—	コロナウイルスの影響により、本庁舎における公用車の走行距離が大幅に減少しており、前年比で大幅に減少した。
軽油購入量(L)	89,696	67,042	61,309	△ 28,388	△ 31.7	—	幼稚園や保育所の園バスが軽油からガソリンに燃料転換され、減少傾向にある。
A重油購入量(L)	162,800	69,700	48,250	△ 114,550	△ 70.4	—	給食センターのエネルギー転換(都市ガス化)によって大幅に減少している。
灯油購入量(L)	520,478	423,124	318,733	△ 201,745	△ 38.8	—	一部の施設を除き、エネルギー転換(都市ガス化)により継続的に減少している。
都市ガス使用量(m <sup>3</sup> )	572,328	926,717	1,088,442	516,114	90.2	—	液体燃料からの転換によって増加している。小中学校においてはコロナウイルスの影響が季節によっては前年比10倍を超える使用がある。 ※軽油、A重油、灯油に比べて都市ガスのCO2排出係数は低く、高効率機器の導入が進んでいる。
プロパンガス使用量(kg)	43,080	40,163	34,879	△ 8,201	△ 19.0	—	全体的に減少しているが、空調熱源への使用により小学校での消費量は増加している。
熱使用量(MJ)	6,895,973	7,429,264	5,780,493	△ 1,115,480	△ 16.2	—	主にカピオ、ノバホール、中央図書館、吾妻交流センター、つくばイノベーションプラザで使用されているエネルギーの1つ。コロナの影響により全施設で減少している、特にノバホールの使用量が大幅に減少した。

※電気使用量は、クリーンセンターが使用した電力量のうち、自家発電して使用した電力量を除いて算出。